

平成22年度危険物安全週間が実施されます

【期間】6月6日(日)から12日(土)まで。

【平成22年度推進標語】『危険物 事故は瞬間 無事故は習慣』

小松島市消防本部で実施する
主な行事

①テレビ・市広報誌等による広報、ポスター等による啓発普及

②危険物施設等への立入検査

③優良危険物関係従業者の表彰

危険物というとガソリンや灯油などをすぐに思い浮かべますが、私たちの身近には、エアゾール製品やマニキュア、除光液、接着剤などの危険物を利用した製品がたくさんあります。

危険物は事業所等において幅広く利用されるとともに、私たちの身近にも存在し日常生活において欠かすことのできないものになっています。これらの製品は私たちの暮らしを豊かにする一方で、その取扱い方法を誤ると火災等の災害を誘発する危険性を持っています。

危険物を取り扱う事業所の方ももちろん、家庭のみなさんも危険物の安全な取扱い、廃棄、保管方法や危険性について再確認し、危険物に関する事故や災害を防ぎましょう。

危険物とは消防法で定められているもので、一般的に次のような

危険性を持った物品をいいます。

①火災が発生する危険性が大きい。

②火災が発生したとき拡大する危険性が大きい。

③火災が発生したとき消火が困難。

セルフ型ガソリンスタンドを安全に利用するために！

セルフスタンドの増加により自分で給油する機会が増えましたが、ガソリンは「危険物」です。

全国で静電気による火災やガソリンの吹きこぼれ事故が起きています。

給油の際には、次の事項に十分注意して安全な給油作業を心がけましょう。

1. エンジンは必ずOFF！

指定された場所に停止し、必ずエンジンを停止しましょう。

2. 静電気除去シートにタッチ！

帯電したまま給油キャップを開けると、放電スパークしてガソリンの可燃性蒸気に引火する事故が発生するおそれがあります。給油の前には静電気除去シートや車の金属部分に触れて、静電気を除去してください。

3. 燃料種類を確認！

社用車やレンタカーなど普段使わない車両に給油する場合は特に注意が必要です。給油ノズルには燃料種類の表示とともに、ハイオクが「黄」、レギュラーが「赤」、軽油が「緑」に彩色されていますので確認したうえで給油してください。

4. 正しい操作で給油を！

給油ノズルを止まるところまで確実に差込んで、レバーを止まるところまで確実に引き、しっかりと握って給油をおこなしましょう。また、給油は必ず一人でおこなってください。

※確実に差し込めていない場合や少しづつ給油した場合は自動給油停止装置が作動しない場合があります。

5. 注意足しはしない！

自動給油停止装置が作動し給油が自動的に停止したら、それ以上は給油しないようにしましょう。

※セルフスタンドでは利用客が自分で容器にガソリンを詰め替えることはできません！！

必要な場合は従業員に依頼してください。

今年の「小松島港まつり」は7月18日、19日に開催！

「ブルーインパルス」の展示飛行も決定！！



本市恒例の「小松島港まつり」の同運営委員会（会長 宮城寛・小松島商工会議所会頭）の初会合が5月14日に小松島市役所4階大会議室で開催、今年7月18日（日）、19日（月・海の日）に開催されることが決定しました。

運営委員会には、小松島商工会議所、小松島警察署、自衛隊徳島地方協力本部など関係機関、団体等から約40人が出席し、左表の行事を行うことが決定しました。

開催日	予定時間	実施行事	場所
7月18日(日)	午後4時～5時30分	らっしゃい！屋台 開幕式典 阿波踊り （荒天時、ミリカホール） 民謡の夕べ （荒天時、南小松島小 体育館）	小松島ステーションパーク たぬき広場 たぬき広場
7月19日(月)	午後8時～	花火大会 （荒天時は翌日に順延）	小松島港（新港地区）

また、協賛行事として航空自衛隊のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」の展示飛行、嘉門達夫氏によるコンサート、徳島海上保安部巡視船による体験航海などが行われることが決定されました。

なお、開幕式典実行委員会、警備検討委員会など各実行委員会の構成等も決定され、各委員会でも検討を重ね、事故が起きないよう万全の体制で実施計画を立てることになりました。行事などの詳しい内容については、7月号でお知らせします。